

WebSAM Storage VASA Provider

アップデート手順書

初版 2017 年 4 月

3 版 2019 年 5 月

はしがき

本書では、以下の WebSAM Storage VASA Provider のアップデート手順について説明します。

製品名	バージョン
WebSAM Storage VASA Provider	2.2、2.3、2.4、2.5、2.6、2.7

WebSAM Storage VASA Provider はバージョン 2.7 から 64 ビットプログラムとなっております。
そのため、本書では、V2.7 よりも前のバージョンを 32 ビット VASA Provider、V2.7 もしくは、
それ以降のバージョンを 64 ビット VASA Provider と記載しております。

商標および登録商標

- ・ VMware の製品は、<http://www.vmware.com/go/patents> のリストに表示されている 1 つまたは複数の特許の対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。ほかのすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。
- ・ その他、記載されている製品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。

目次

第 1 章 はじめに	1
1-1 概要.....	1
1-2 作業リスクポイント.....	2
1-3 作業書の記載について	2
第 2 章 事前準備	3
2-1 お客さまに依頼する事前準備	3
2-2 事前の準備物件	3
2-3 注意事項.....	4
第 3 章 VASA Provider アップデート手順	5
3-1 事前手順.....	5
3-2 VASA Provider のアップデート手順.....	7
3-3 作業時のトラブルシュート	21
3-3-1 VASA Provider アカウント再設定	21
3-3-2 VASA Provider の前バージョンへの切り戻し	22

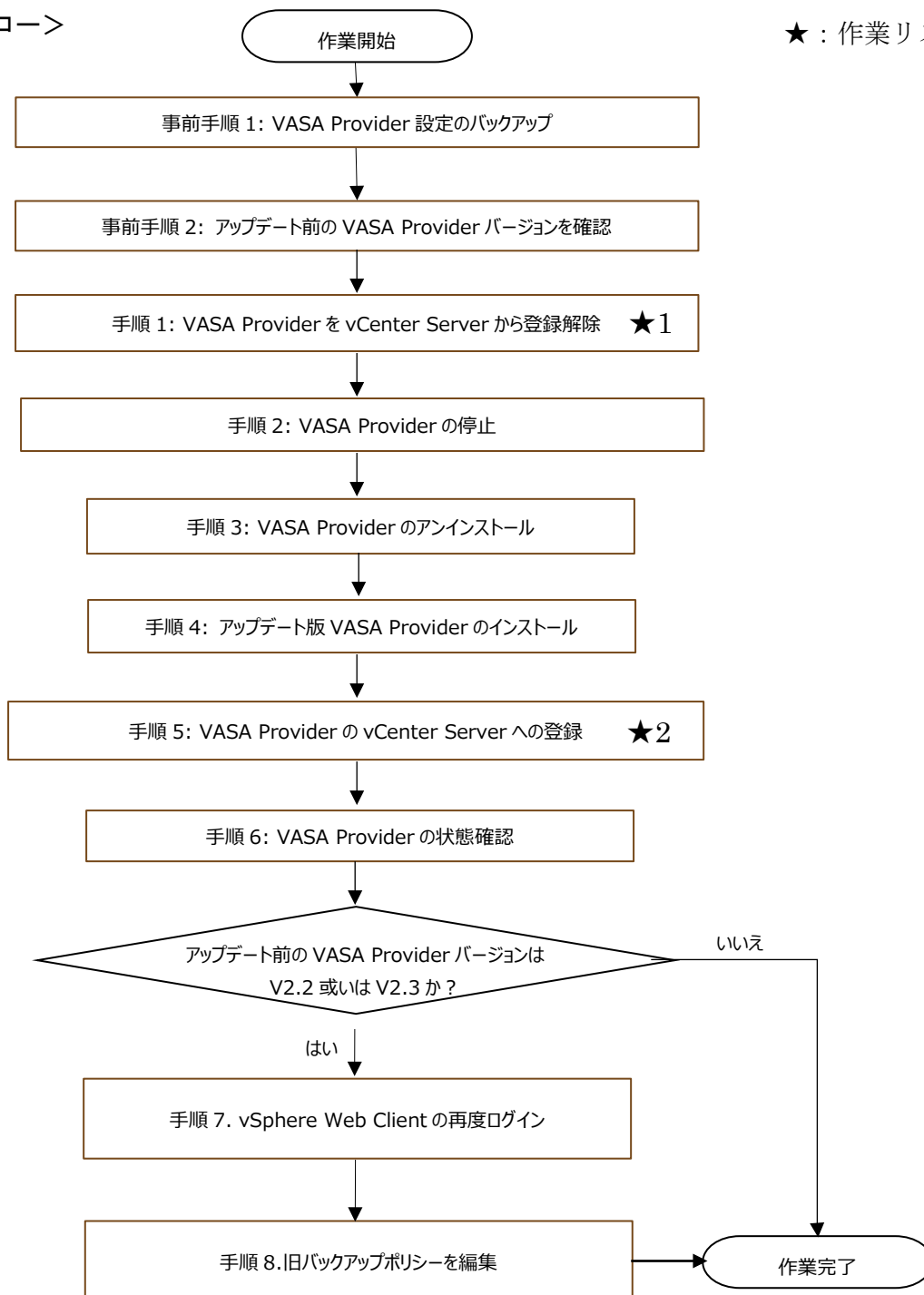
第1章 はじめに

1-1 概要

本手順書は、WebSAM Storage VASA Provider (以下、VASA Provider) アップデートのための手順書です。下記作業フローで実施します。

＜作業フロー＞

★：作業リスクポイント



1-2 作業リスクポイント

本作業を行う際には、以下に留意してください。

ポイント	作業内容	作業リスク	対策(処置)
★1	VASA Provider を解除	VASA Provider 以外を解除	vSphere の管理上、VASA Provider は「ストレージプロバイダ」とよばれるコンポーネントの一種として登録されます。 登録されているストレージプロバイダが本対象の VASA Provider のみであれば問題ありません。他社ストレージ、vSAN 用など、他のストレージプロバイダを登録されている場合は登録解除の際には注意してください。 誤って削除した場合の対処は各ストレージプロバイダにより異なりますので、それぞれのマニュアルを参照ください。
★2	VASA Provider の登録	登録アカウントを失い登録できない	アカウントの再作成を行います。 3-3-1 トラブルシュートを参照してください

1-3 作業書の記載について

手順書中に記載する数値や入力値等はシステムの構成に依存するため可変な記載となっています。作業時は実施環境に合わせて読み替えて実施してください。

第2章 事前準備

2-1 お客さまに依頼する事前準備

1) 作業環境の調整

VASA Provider アップデートには iStorageManager、VASA Provider が動作する管理サーバに管理者権限を有するユーザでログインする必要があります。また、vSphere Web Client を使用して vCenter Server へ管理者権限を有するユーザでログインする必要があります。アカウントの確保をお願いします。

2-2 事前の準備物件

事前に、次の2点を準備してください。

1) クライアント PC

Windows マシン（リモートデスクトップ、Internet Explorer11 が実行できる環境）を用意して下さい。iStorageManager、VASA Provider のインストールされた管理サーバ、および vCenter Server と通信できる管理ネットワークに接続してください。

vSphere Web Client をブラウザで開くために Adobe Flash Player 16 以降が必要になりますので、インストールして下さい。

2) VASA Provider インストーラファイル

VASA Provider アップデート物件のインストーラファイルを iStorageManager、VASA Provider のインストールされた管理サーバに保存します。

インストーラは一つのファイル（Setup.exe）です。

圧縮ファイル(zip)で提供しますので解凍してください。

2-3 注意事項

作業を行う際には、以下に留意してください。

- 本手順書の手順で、アップデート作業中 VASA Provider を停止します。
VASA Provider 停止時には VVOL 上に構築した仮想マシンの操作ができなくなります。
操作とは、仮想マシンの起動・停止・ホスト間移行・ストレージ間移行・バックアップを含みます。
動作中の VM の動作や IO への影響はありません。

所要時間の目安：

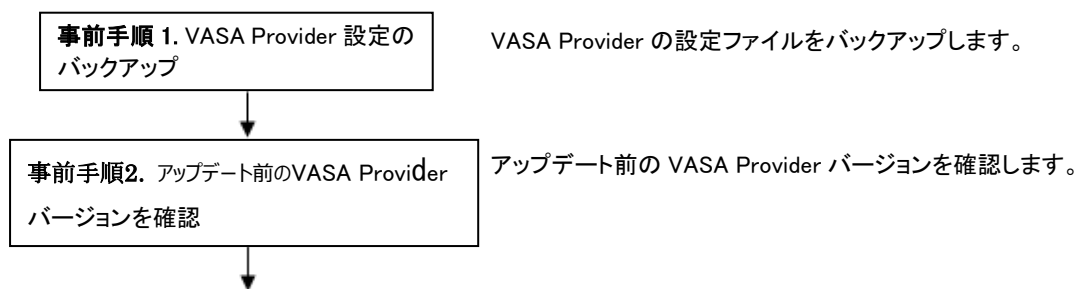
最大 1 時間

- VASA Provider 停止中、vSphere WebClient 上、VVOL 用データストアが(inactive)の状態となり、および VVOL 上に構築した VM がアクセス不可(inaccessible)の状態と表示されます。

第3章 VASA Provider アップデート手順


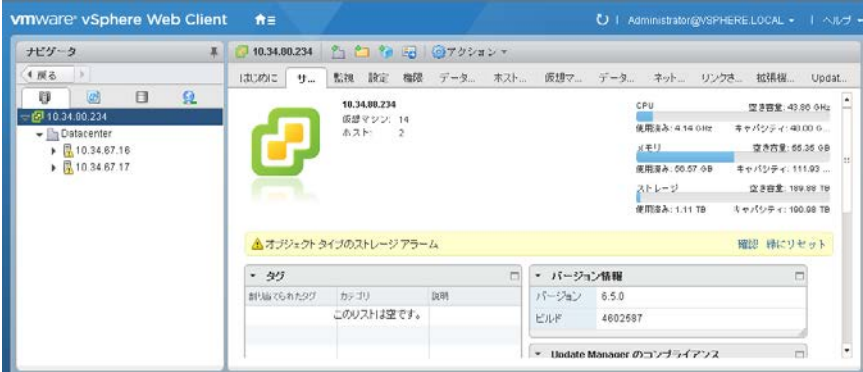
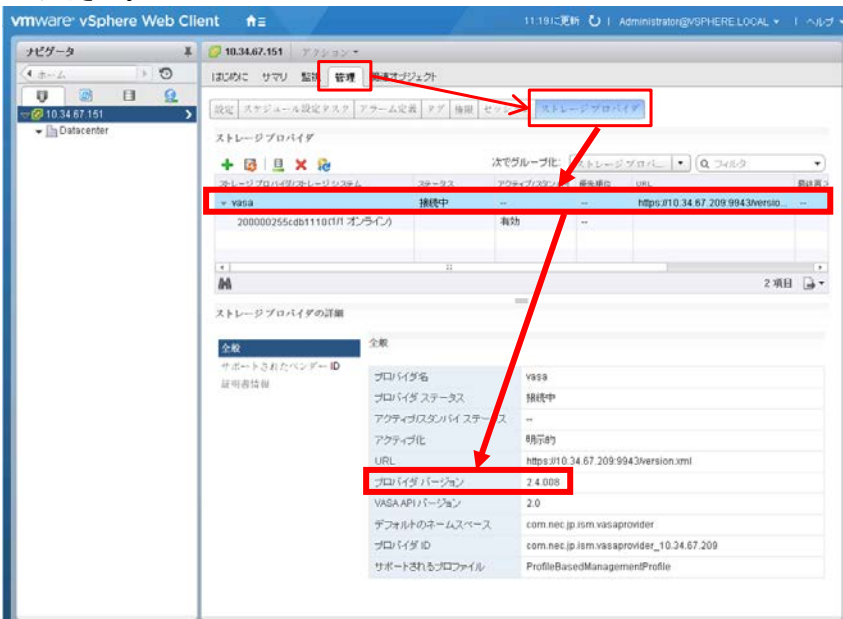
3-1 事前手順

VASA Provider アップデートを開始するにあたり事前に実施する手順を説明します。
以下の手順で実施してください。



3-2 VASA Provider アップデート手順へ

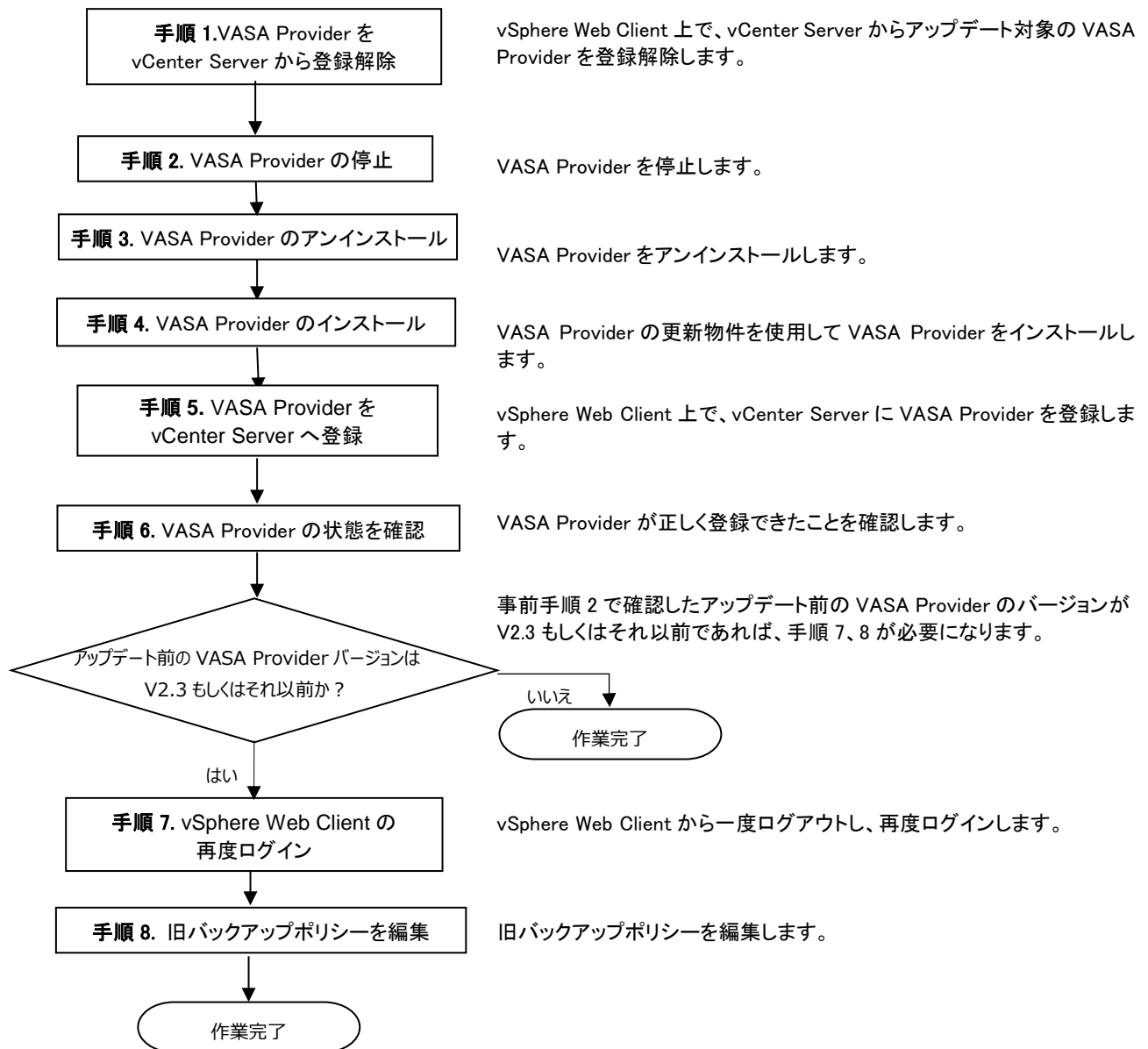
作業項目	作業確認			備考
	作業内容	作業者	チェック	時間
事前手順 1. VASA Provider 設定のバックアップ				
iStorageManager、VASA Provider のインストールされた管理サーバへログインします。直接ログイン、リモートデスクトップでのログインのいずれも問題ありません。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
以下のフォルダを中のファイルごとすべてバックアップとして別の場所にコピーしてください。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
・〈VASA Provider インストールフォルダ〉¥conf				
・〈VASA Provider インストールフォルダ〉¥server¥conf				
・〈VASA Provider インストールフォルダ〉¥server¥webapps¥iSMvasa¥WEB-INF¥conf¥				
・〈VASA Provider インストールフォルダ〉¥RelationBetweenVMandVVOL¥				
・〈VASA Provider インストールフォルダ〉¥LatestRelationBetweenVMandVVOL¥				
〈VASA Provider インストールフォルダ〉はデフォルトでは下記になります。				
32 ビット : C:¥Program Files (x86)¥NEC¥iSM VASA Provider				
64 ビット : C:¥Program Files¥NEC¥iSM VASA Provider				


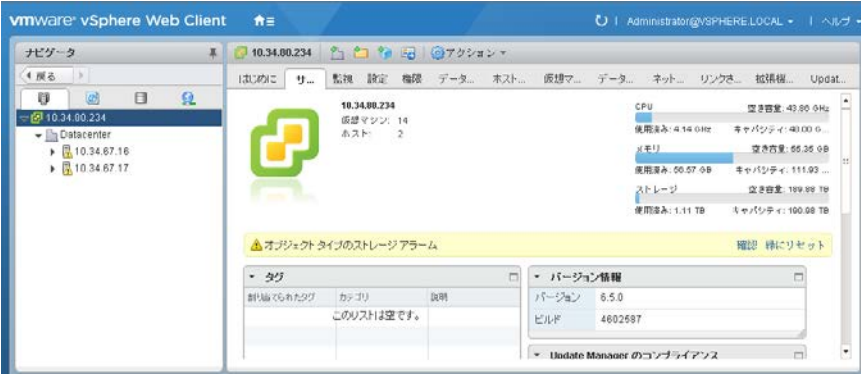
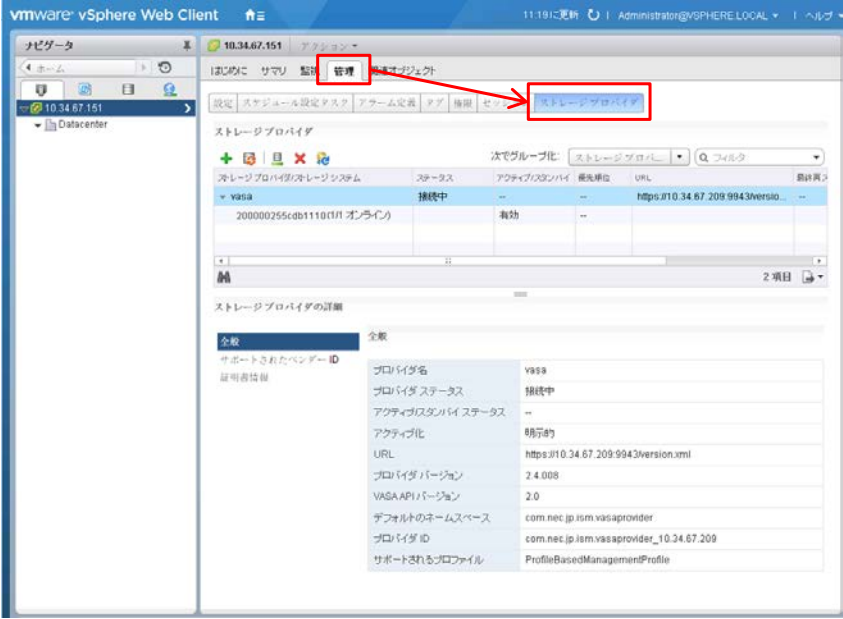
作業項目	作業確認			備考
作業内容	作業者	チェック	時間	
<p>事前手順 2. アップデート前の VASA Provider バージョンを確認</p> <p>下記の手順でアップデート前の VASA Provider バージョンを確認します。</p> <p>vSphere Web Client 画面にログインし、「ホストおよびクラスタ」画面を開きます。</p> <p>「ホストおよびクラスタ」画面を開くには、画面上部のアイコンをクリックし、表示されるメニューの「ホストおよびクラスタ」を選択してください。</p>  <p style="text-align: center;">ホストとクライアント画面</p> <p>左のツリーのもっとも根本の vCenter Server を選択します。</p> <p>「管理」タブ → 「ストレージプロバイダ」タブと選択し、ストレージプロバイダ画面を開きます。</p> <p>ストレージプロバイダを押して、「全般」でのプロバイダバージョンの値を確認してください。</p>  <p style="text-align: center;">ストレージプロバイダ画面</p>	□	□		

3-2 VASA Provider のアップデート手順

VASA Provider のアップデートを実施する手順を説明します。

以下の手順で実施してください。



作業項目	作業確認			備考
	作業内容	作業者	チェック	時間
手順 1. VASA Provider を vCenter Server から解除				
保守 PC(クライアント PC)で Internet Explorer を起動し、下記 URL を開きます。 https://<vCenter Server の IP アドレス>/vsphere-client/ vCenter Serverのアカウントを入力してログインしてください。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
vSphere Web Client画面にログインし、「ホストおよびクラスタ」画面を開きます。 「ホストおよびクラスタ」画面を開くには、画面上部のアイコン  をクリックし、表示されるメニューの「ホストおよびクラスタ」を選択してください。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
 <p>ホストとクライアント画面</p>				
左のツリーのもっとも根本のvCenter Serverを選択します。				
「管理」タブ → 「ストレージプロバイダ」タブと選択し、ストレージプロバイダ画面を開きます。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
 <p>ストレージプロバイダ画面</p>				

ストレージプロバイダ画面の一覧表にVASA Providerが表示されています。
アップデート対象のVASA Providerを選択します。
ストレージプロバイダの詳細の欄を確認し、プロバイダ名を記録してください。
「手順5. VASA ProviderをvCenter Serverへ登録」で使用します。
ストレージプロバイダの詳細の欄のデフォルトのネームスペースの値が
「com.nec.jp.ism.vasaprovider」となっていることを確認してください。

VASA Providerの下には、VASA Providerに登録されたディスクアレイ装置の一覧が
表示されます。このディスクアレイ装置を確認し、記録してください。

アップデート対象のVASA Providerを選択した状態で、ストレージプロバイダの一
覧表の上に表示された **✖** のアイコンをクリックし、登録解除します。

☐

☐

☐

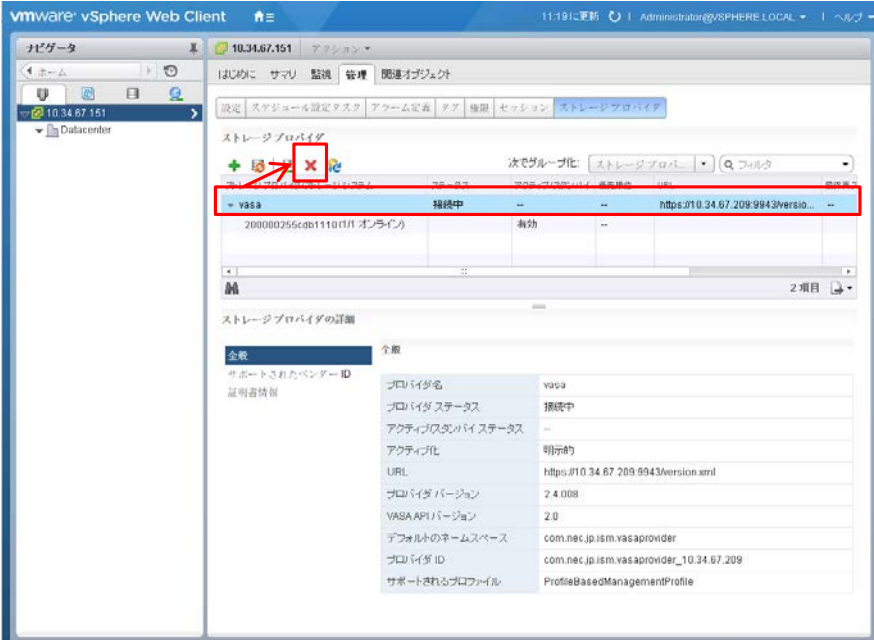
☐

☐

☐

☐

☐



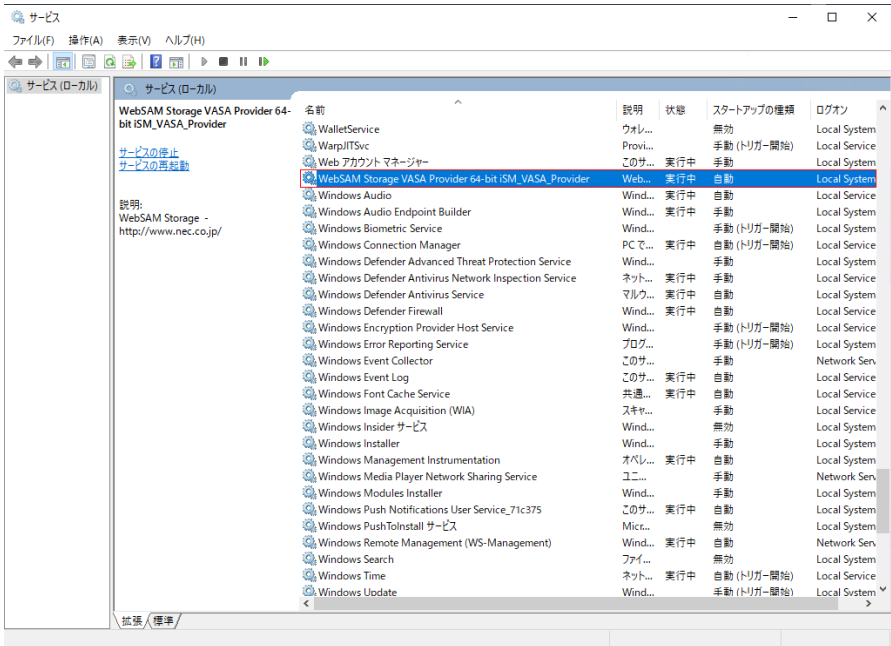
ストレージプロバイダ画面でのVASA Provider登録解除

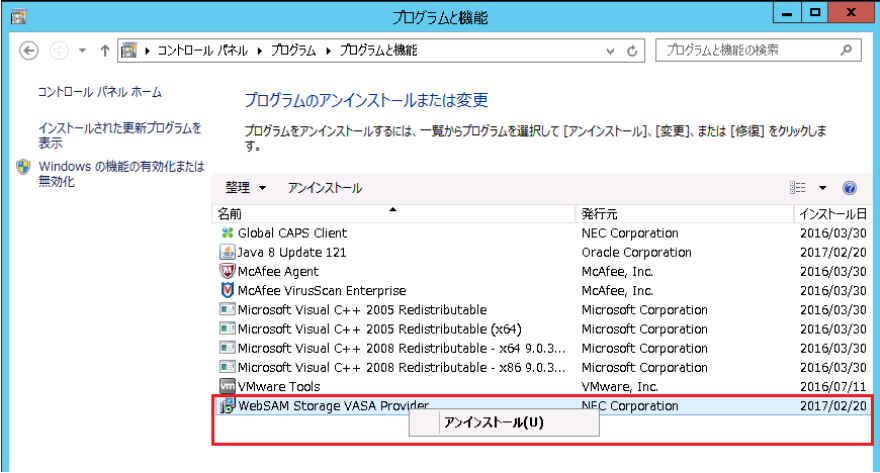
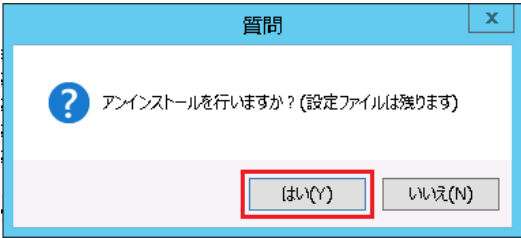
ポップアップで登録解除の確認が表示されます。「はい」を選択します。

vSphere Web Client画面は後の手順で使用しますので、閉じないでください、

☐

☐

作業項目		作業確認			備考
作業内容		作業者	チェック	時間	
手順2. VASA Providerの停止					
<p>管理サーバに管理者権限のユーザで、直接ログイン、もしくはWindowsのリモートデスクトップ機能によりログインします。</p> <p>Windowsのサービス画面を開きます。</p> <p>「WebSAM Storage VASA Provider 32-bit iSM_VASA_Provider」が32ビット VASA Providerのサービスです。</p> <p>「WebSAM Storage VASA Provider 64-bit iSM_VASA_Provider」が64ビット VASA Providerのサービスです。</p> <p>上記サービスを選択し、サービスを停止します。</p>		<div><input type="checkbox"/></div>	<div><input type="checkbox"/></div>		
<div></div>		<div><input type="checkbox"/></div>	<div><input type="checkbox"/></div>		
サービス画面					

作業項目	作業確認			備考
	作業内容	作業者	チェック	時間
手順 3. VASA Provider のアンインストール				
<p>手順 3 でログインした環境で引き続き作業行います。</p> <p>Windows のスタートメニューから、「コントロールパネル」→「プログラムと機能」と選択し、「プログラムのアンインストールまたは変更」画面を表示します。</p> <p>インストールされているプログラムのリストから「WebSAM Storage VASA Provider」を選択し、右クリックのメニューから「アンインストール」を選択します。</p>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
 <p>「プログラムのアンインストールまたは変更」画面</p>				
<p>アンインストールの確認ダイアログが表示されますので、「はい」を選択します</p>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				
<p>アンインストール完了画面が表示されますので、「完了」を選択します。</p>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<p>※32 ビット VASA Provider (V2.7 よりも前のバージョンの VASA Provider) から 64 ビット VASA Provider (V2.7 もしくは、それ以降のバージョンの VASA Provider) へアップデートする場合、64 ビット版 JDK 11 (Java Development Kit) 以降へのアップデートが必要です。Java のアップデートは、以下の順で実施してください。</p>				
① 古い Java をアンインストールしてください。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
② 古い Java の設定を削除します。システム環境変数 Path あるいは PATH から、古い Java の bin ディレクトリを削除してください。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③ 新バージョン Java をインストールしてください。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※以下のインストール媒体からOpenJDK 11以降をインストールできます。

- ・WebSAM iStorageManager Ver10.2 以降

※OpenJDK 11のインストール手順は「WebSAM iStorageManagerインストールガイド」を参照してください。

- ④ 64ビット版JDK 11以降の環境変数の設定を行ってください。設定内容については、「iStorage ソフトウェア バーチャルボリューム機能利用の手引」の「2.2.1 VASA プロバイダのインストール」を参照してください。

☐

☐

※32 ビット VASA Provider から 64 ビット VASA Provider へアップデートする場合、ユーザ設定情報を自動では引き継ぎません。

アップデート前の設定情報を引き継ぐ場合、以下の手順を実施してください。

- ① %ProgramFiles%配下に、「NEC¥iSM VASA Provider」のフォルダがない場合、作成してください。通常、%ProgramFiles%は「C:¥Program Files」です。例えば、「C:¥Program Files¥NEC¥iSM VASA Provider¥」となります。
- ② 前バージョン VASA Provider をアンインストールした時に残ったフォルダ(※)を「%ProgramFiles%¥NEC¥iSM VASA Provider」のフォルダにコピーしてください。

☐

☐

☐

☐

※：残ったフォルダは下記の通りです。

アップデータ前の<インストール先フォルダ>¥conf

アップデータ前の<インストール先フォルダ>

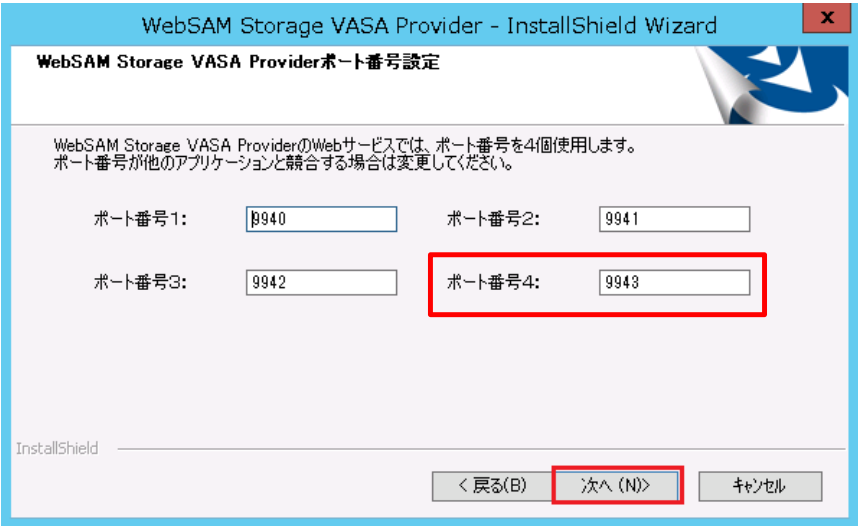
¥LatestRelationBetweenVMandVVOL

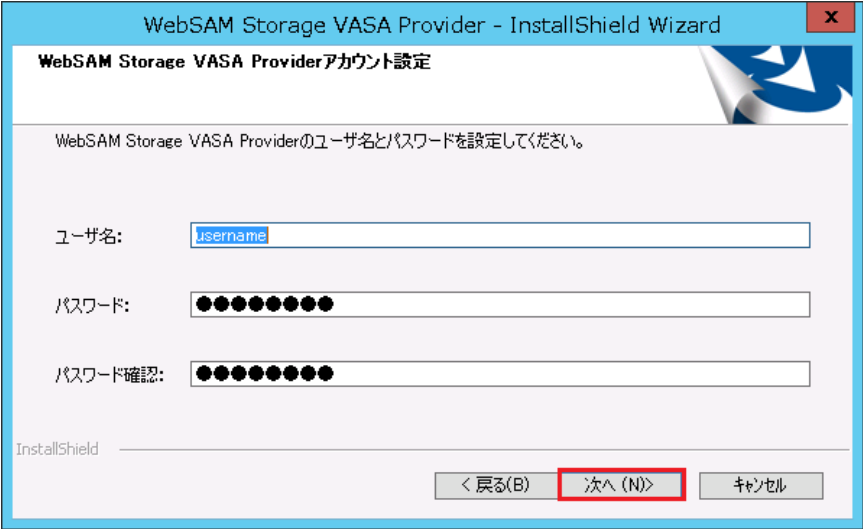
アップデータ前の<インストール先フォルダ>¥RelationBetweenVMandVVOL


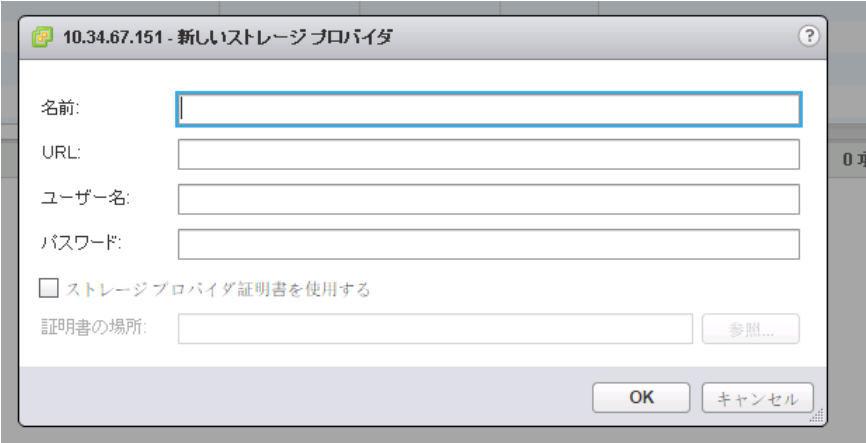
アップデータ前の<インストール先フォルダ>¥server

☐

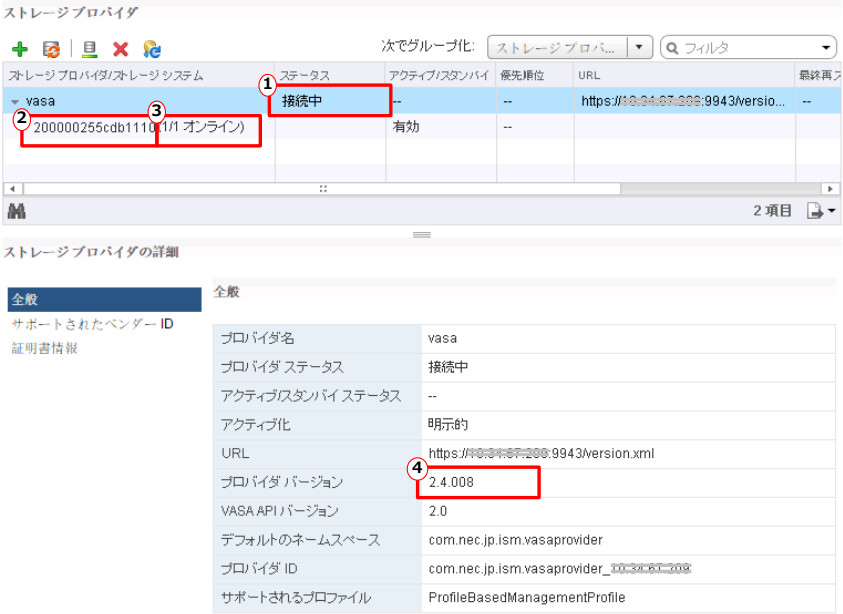

☐


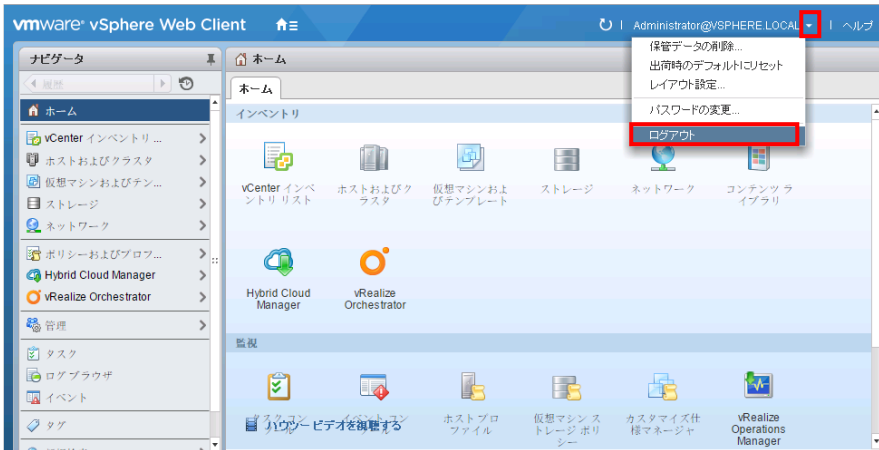
作業項目	作業確認			備考
	作業内容	作業者	チェック	時間
手順4. VASA Providerのインストール				
<p>手順3に引き続き、管理サーバ上で作業を行います。</p> <p>「2-2 事前の準備物件」「2) VASA Provider インストーラファイル」で用意いただいた VASA Provider 更新物件のインストーラファイルにより、VASA Provider をインストールします。</p> <p>zip ファイルを解凍し、Setup.exe を実行してください。</p> <p>インストール確認画面が表示されます。「次へ」を選択します。</p> <p>使用許諾契約画面が表示されます。使用許諾契約書内容を確認し、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」を選択します。</p> <p>インストール先の選択画面が表示されます。アップデート前と同じディレクトリが選択されていますので、変更せずに「次へ」を選択します。</p> <p>でも、32 ビット VASA Provider から 64 ビット VASA Provider へアップデートする場合、アップデート前と同じディレクトリが選択されません。デフォルトインストールディレクトリを変更せずに、「次へ」を選択してもいいです。</p> <p>WebSAM Storage VASA Provider ポート番号設定画面が表示されます。</p> <p>アップデート前と同じポート番号が表示されます。特に「ポート番号 4」に設定された値は後の手順で使用するので、記録してください。入力された値は変更せずに、「次へ」を選択します。</p>				
 <p>WebSAM Storage VASA Provider ポート番号設定画面</p>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	


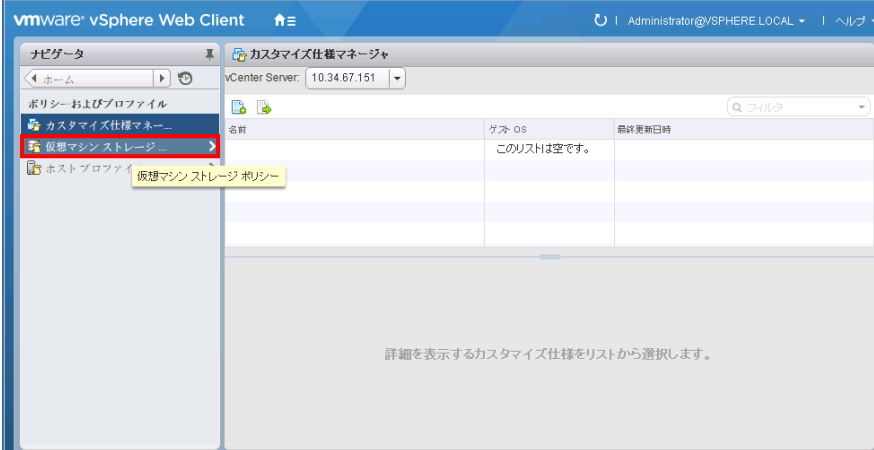

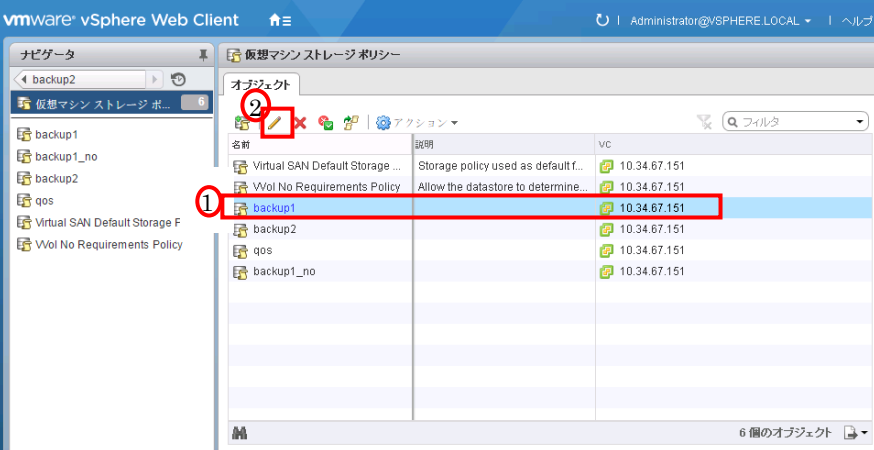
<p>WebSAM Storage VASA Provider アカウント画面が表示されます。</p> <p>アップデート前のアカウントが入力されていますので、特に必要がなければ「次に」を選択します。ここでアカウント情報を変えることも可能です。アカウント情報を変えた場合、後の手順で使用しますので、記録してください</p> <p>アカウント情報を変える場合、「3-4-1 VASA Provider アカウント再設定」の注意事項に使用できる文字の記載があるので参照してください。</p> <div data-bbox="140 539 1007 1066">  </div> <p>WebSAM Storage VASA Provider アカウント画面</p> <p>ディスクアレイ装置の登録画面が表示されます。</p> <p>アップデート前に登録されていたディスクアレイ装置は「登録済みディスクアレイ装置 IP アドレス一覧」に登録されています。登録されたディスクアレイ装置に間違いがないか確認し、「次へ」を選択します。</p> <p>VMware vCenter Server 情報の登録画面が表示されます。</p> <p>アップデート前の設定が入力済みになっています。特に問題がなければ「次へ」を選択します。</p> <p>構成情報ファイルの出力間隔時間設定画面が表示されます。</p> <p>アップデート前の設定が入力済みになっています。特に問題がなければ「次へ」を選択します。</p> <p>インストール完了の画面が表示されます。「完了」を選択します。</p> <p>VASA Provider のインストールから、VASA Provider が正常に起動するまで 2 分程度かかります。2 分待ち、下記手順に進みます。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
<p>ディスクアレイ装置の登録画面が表示されます。</p> <p>アップデート前に登録されていたディスクアレイ装置は「登録済みディスクアレイ装置 IP アドレス一覧」に登録されています。登録されたディスクアレイ装置に間違いがないか確認し、「次へ」を選択します。</p> <p>VMware vCenter Server 情報の登録画面が表示されます。</p> <p>アップデート前の設定が入力済みになっています。特に問題がなければ「次へ」を選択します。</p> <p>構成情報ファイルの出力間隔時間設定画面が表示されます。</p> <p>アップデート前の設定が入力済みになっています。特に問題がなければ「次へ」を選択します。</p> <p>インストール完了の画面が表示されます。「完了」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
<p>VASA Provider のインストールから、VASA Provider が正常に起動するまで 2 分程度かかります。2 分待ち、下記手順に進みます。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

作業項目	作業確認			備考
	作業内容	作業者	チェック	時間
手順5. VASA ProviderをvCenter Serverへ登録				
<p>手順1でログインした vSphere Web Client 画面を使用します。</p> <p>手順1で開いたストレージプロバイダ画面で  アイコンをクリックし、ストレージプロバイダ登録画面を開きます。</p>  <p style="text-align: center;">ストレージプロバイダ登録画面</p>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<p>名前の項に入力した文字列が VASA Provider のプロバイダ名としてストレージプロバイダ画面で表示されます。手順1で記録したアップデート前の VASA Provider のプロバイダ名を入力してください。</p>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<p>URL は下記の形式で入力します。</p> <p><code>https://<管理サーバの IP アドレス (※1)>:<ポート番号 4 (※2)>/version.xml</code></p> <p>※1：IP アドレスは、IPv4 のみ使用できます。</p> <p>※2：手順4の WebSAM Storage VASA Provider ポート番号設定画面で、ポート番号4の項に入力した値です。</p> <p>例：サーバの IP アドレスが 192.168.1.100、ポート番号4が 9943 の場合、</p> <p><code>https://192.168.1.100:9943/version.xml</code></p>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<p>ユーザ名には手順4の WebSAM Storage VASA Provider アカウント画面で「ユーザ名」の項に入力した値を入力します。</p>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<p>パスワードには手順4の WebSAM Storage VASA Provider アカウント画面で「パスワード」の項に入力した値を入力します。</p>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

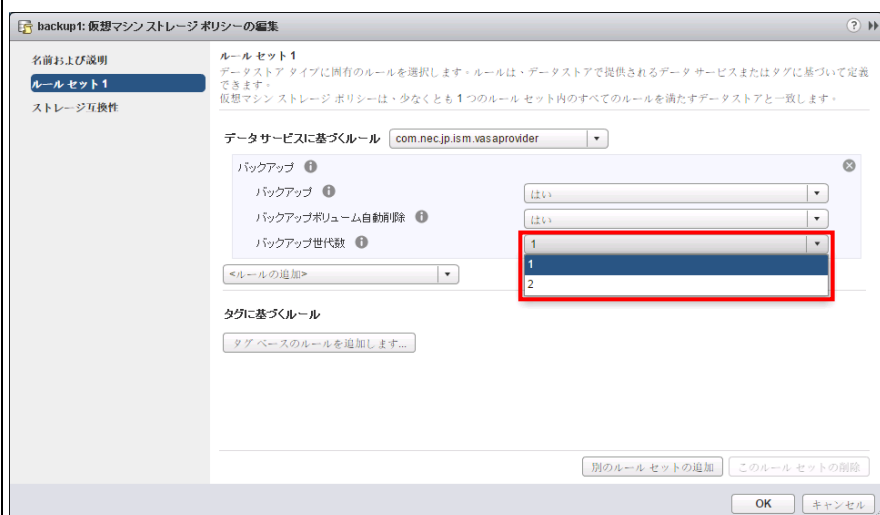
<div data-bbox="156 241 1011 412"><p>ユーザ名・パスワードが異なりエラーとなった場合、トラブルシューティングの「3-4-1 VASA Provider アカウント再設定」の手順で再設定が可能です。ユーザ名・パスワードを再設定し、その値を入力してください。</p></div> <p data-bbox="135 477 994 555">「セキュリティアラート」の画面が表示されます。「はい」を選択してください。</p>	<input data-bbox="1086 477 1114 506" type="checkbox"/>	<input data-bbox="1201 477 1228 506" type="checkbox"/>		
--	--	--	--	--

作業項目	作業確認			備考
	作業内容	作業者	クロスチェック	時間
手順6. VASA Providerの状態を確認				
<p>VASA ProviderをvCenter Serverに登録したのち、有効になるまで5分程度かかります。</p> <p>下記により、VASA Provider が正常に登録され有効になっていることを確認します。</p> <p>「ストレージプロバイダ」画面で下記 1~4 を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ストレージプロバイダ画面において VASA Provider のステータスが「接続中」もしくは「オンライン」になっている。 2. VASA Provider の下に手順 1 で確認したアップデート前の VASA Provider に登録されたディスクアレイ装置がすべて表示されている 3. 上記ディスクアレイ装置の名称の後ろに「(1/1 オンライン)」と表示される 4. VASA Provider を選択し、ストレージプロバイダー一覧表の下に表示されるストレージプロバイダの詳細欄のプロバイダバージョンが、アップデート後の VASA Provider のバージョンが表示されている。 <p>※以下の図では例として「2.4.008」を表示しています。</p>  <p>「ストレージプロバイダ」画面での確認内容</p>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<p>「仮想マシンおよびテンプレート」画面で下記 5 を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. VVOL上に構築されたVMのinaccessibleが解除される。 <p>解除されない場合、vSphere Web Client画面上部の (更新) アイコンをクリックして画面を更新してください。</p>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

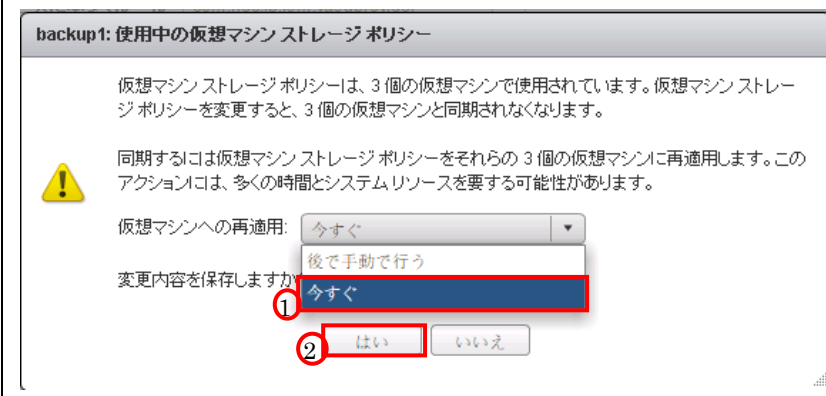
作業項目		作業確認			備考
作業内容		作業者	クロスチェック	時間	
手順7. vSphere Web Clientの再度ログイン		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
WebSAM Storage VASA Provider を V2.2 もしくは V2.3 から V2.4 以降にアップデートする場合この手順を実施してください。 vSphere Web Client画面上部の登録しているユーザの右の  アイコンをクリックし、表示されるメニューの「ログアウト」を選択して、再度ログインしてください。					
					

作業項目	作業確認			備考
作業内容	作業者	クロスチェック	時間	
<p>手順8. 旧バックアップポリシーを編集</p> <p>WebSAM Storage VASA Provider を V2.3 もしくはそれ以前から V2.4 以降にアップデートする場合この手順を実施してください。</p> <p>下記の通りに全ての旧バックアップポリシーを編集してください。 バックアップポリシーを使用していない場合、手順 8 は不要です。</p> <p>①vSphere Web Client 画面にログインし、「ポリシーおよびプロファイル」画面を開きます。 「ホストおよびクラスタ」画面を開くには、画面上部のアイコン  をクリックし、表示されるメニューの「ポリシーおよびプロファイル」を選択してください。</p> <p>②左のツリーで「仮想マシン ストレージ ポリシー」を選択します。</p>  <p>③対象バックアップポリシーを選択し、 をクリックして、ポリシーの編集画面を開きます。</p> 	<div>□</div> <div>□</div> <div>□</div>	<div>□</div> <div>□</div> <div>□</div>		

④「ルールセット 1」を選択して、バックアップ世代数を「1」⇒「2」⇒「1」のように変更し、再度元の値に戻します。



⑤「OK」ボタンを押して、表示されたダイアログで「今すぐ」を選択して、「はい」ボタンを押します。



3-3 作業時のトラブルシュート

作業時のトラブルシュートを記載します。

3-3-1 VASA Provider アカウント再設定

VASA Provider を vCenter Server に登録する際に必要な VASA Provider のアカウント情報を万が一紛失した場合、アカウントの再設定が必要です。

アカウントの再設定は下記手順で行います。

1) 管理サーバ上でコマンドプロンプトを管理者権限で起動

VASA Provider をインストールしたクライアントPCから「スタート→プログラム→アクセサリ→コマンドプロンプト」と呼び出し、コマンドプロンプトを右クリックし、「管理者権限で実行」を選択します。

2) アカウント設定コマンド実行

コマンドプロンプトで<VASA プロバイダインストールフォルダ>\bin に移動します。

コマンドプロンプト上で、VASA プロバイダの「SetProviderConf」コマンドを「-s」オプションで実行することにより、ユーザ名／パスワードを変更できます。

```
C:\Program Files (x86)\NEC\iSM VASA Provider\bin>SetProviderConf -s <ユーザ名> <パスワード>  
Set successfully!
```

"Set successfully!"のメッセージが出力されれば、変更は成功です。



ユーザ名とパスワードは、255 文字以内の半角英数字および記号で指定します。

英字の大文字と小文字は区別されます。

記号に使用可能な文字を以下に示します。また、空白は使用できません。

! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | } ~

ユーザ名またはパスワードに、「\"」を含む場合は、「\"\"」あるいは「¥\"」を入力してください。「¥\"」の場合は、「¥¥\"\"」を入力してください。

また、ユーザ名またはパスワードの末尾が、「¥」の場合は、「¥¥」を入力してください。

3-3-2 VASA Provider の前バージョンへの切り戻し

VASA Provider のインストール後正常に動作せず、前バージョンへ戻す場合は下記手順で行います。

1) VASA Providerのアンインストール

上述した VASA Provider のアップデート手順のうち、「手順 1.VASA Provider を vCenter Server から解除」、「手順 2. VASA Provider の停止」、「手順 3. VASA Provider のアンインストール」により VASA Provider をアンインストールします。

2) 環境設定ファイル削除

下記フォルダを削除します。

- ・<VASA Provider インストールフォルダ>\¥conf
- ・<VASA Provider インストールフォルダ>\¥server¥conf
- ・<VASA Provider インストールフォルダ>\¥server¥webapps¥iSM¥asa¥WEB-INF¥conf¥
- ・<VASA Provider インストールフォルダ>\¥RelationBetweenVMandVVOL¥
- ・<VASA Provider インストールフォルダ>\¥LatestRelationBetweenVMandVVOL¥

3) 環境設定ファイル復旧

「事前手順 1. VASA Provider 設定のバックアップ」で保存したフォルダ・ファイルを元の場所に戻してください。戻す先はアップデート前の VASA Provider のインストールフォルダになります。

4) Java 設定

32 ビット VASA Provider から 64 ビット VASA Provider へのアップデートを切り戻す場合は、Java の入れ替えも必要となります。

アップデート時にインストールした Java 11 以降をアンインストールし、32 ビット版の Java8 を再度インストールしてください。インストール後 Java の環境変数の設定を行ってください。設定内容については、「iStorage ソフトウェア パーチャルボリューム機能利用の手引」の「2.2.1 VASA プロバイダのインストール」を参照してください。

5) VASA Provider インストール

アップデート前の VASA Provider のインストーラにより、VASA Provider をインストールします。

手順は上述した VASA Provider のアップデート手順のうち、「手順 4. VASA Provider のインストール」、「手順 5. VASA Provider を vCenter Server へ登録」、「手順 6. VASA Provider の状態を確認」となります。

WebSAM Storage VASA Provider
アップデート手順書

2019年 5月 3版

日 本 電 気 株 式 会 社

東京都港区芝五丁目7番1号

TEL(03)3454-1111 (大代表)

©NEC Corporation 2017,2019

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。